

生産性向上人材育成支援センターでは、

# 中小企業におけるDX人材の育成

を支援しています！

経済産業省のDXレポートによれば、95%の企業はDX（デジタルトランスフォーメーション）に全く取り組んでいないか、取り組み始めた段階であり、全社的な危機感の共有や意識改革のような段階に至っていないとされています。

また、DXの定義は、データとデジタル技術を活用して、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化、風土を変革し、競争上の優位性を確立することとしています。それらを推進するには、社内においてDX活動をけん引するDX人材の育成が不可欠です。

生産性向上人材育成支援センターでは、令和4年度から生産性向上支援訓練カリキュラムモデルのうち「DX対応コース」を選定・拡充し、中小企業の“DX人材の育成”を支援しています。

## DX対応コースの概要

DX対応コースでは、既存のカリキュラムモデルを3つの課題別に分類しており、それぞれの課題解決に効果的な訓練コースをご提案しています。

○訓練で習得できる要素例

- ・デジタル化による業務改善
- ・新しい生活様式を踏まえた取組み
- ・新たな業務プロセスの導入や改善
- ・ビジネスモデルに関する取組み

○受講対象者

事業主の指示を受けた在職者

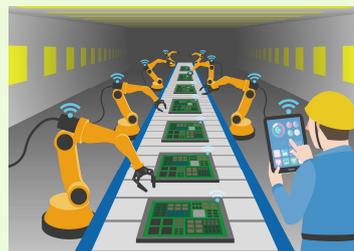
○訓練日数

概ね1～5日（4～30時間）

○受講料（1人あたり・税込）  
2,200円～6,600円

○訓練会場

自社会議室等を訓練会場とすることが可能です  
（企業に講師を派遣します）



## 訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

・センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの  
コーディネート

・相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・DXの推進を考えているが導入手順を知りたい
- ・システム開発に必要な発注者の役割を理解したい

内容  
コース

ビジネスモデルの課題への対応

- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入
- ・ベンダーマネジメント力の向上 など

- ・システム化に伴うコストの考え方を知りたい
- ・物流全体の最適化・効率化を実現したい

内容  
コース

業務プロセスの課題への対応

- ・失敗しない社内システム導入
- ・物流のIT化 など

- ・自社業務に適切なITツールを選定したい
- ・POSシステムを活用して売上げをあげたい

内容  
コース

デジタル化と新たな生活様式の課題への対応

- ・ITツールを活用した業務改善
- ・POSシステムの活用技術 など

訓練受講

・所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部

ポリテクセンター中部 生産性向上人材育成支援センター

〒460-0003 名古屋市中区錦1-10-1 MIテラス名古屋伏見ビル

TEL：052-221-8754 FAX：052-221-1271

ポリテクセンター中部



(2021.1)